

「住民主導の地域づくり」講演会

旭地区公民館で「住民主導の地域づくり講座」が開催されました。講師の都岐沙羅(つきさら)パートナーズセンター事務局長・斎藤主税先生には、会津美里町や旭地区の人口減少予測データを作成いただいた上で、様々な「地域づくり」のヒントをいただきました。人口減少が加速していく中、住民自治も変化を迫られています。現在の旭地区は、地域を支えている世代(65歳~74歳)が多いことがわかりましたが、10年後、お世話される世代が増え、逆にお世話をする世代が減ると、一体どうなるのでしょうか?地域課題の解決に向けた取り組みを持続的に実践する「地域運営組織」の可能性、必要性について考える機会になりました。



作成していただいた集落単位の人口構成分布図等の資料はみさとねっとのホームページにアップしてあります。

共同作業所 希来里が収穫感謝祭を開催しました。

特定非営利活動法人「希来里」は10月31日に、収穫感謝祭を開催しました。恒例の餅つきや、利用者によるステージ発表、ゲストによる民謡などのアトラクションと、つきたての美味しいお餅で、楽しい時間を過ごしました。



「希来里」は会津美里町内外の障がい者、その家族の人たちに対し、地域生活に必要な支援事業を行っています。障がいのある人々が地域において自立した生活を営めるよう、自分の能力を活かして仕事をしています。

特定非営利活動法人「希来里」

TEL:0242-54-6689 <https://www.facebook.com/npo.kirari/>



「みさとねっと」ではNPOやまちづくりに関する図書を貸し出しています。助成金や資料作成などのご相談もお気軽にどうぞ。

NPO×企業のマッチング会に参加しました。

NPOだけでは解決できないことも、多様な主体(企業)と協働することで、得意分野を活かしながら社会課題を解決することが可能です。福島県はその協働事業を実現させるため、NPOと企業のマッチング会を開催しました。会津美里町からは会津コンピュファームとピーターパンネットワークの2団体が参加し、プレゼンを行いました。

自分たちの活動、目的、協働でどんなメリットがあるのかを簡潔にまとめて、印象深くアピールすることは大切なスキルです。改めて自団体を見直すきっかけと、新しいご縁もあり、実りの多いマッチング会になりました。 <https://fnpo-matching.f-saposen.jp/>



高田文化祭に参加しました。

11月2日~4日に開催された高田文化祭にみさとねっとも出店しました。NPO法人会津コンピュファームと同じブースで、ピーターパンネットワーク、ゆきわり荘、会津自然塾、日々草クラブ、八木沢菜の花会、子育てネットワークぽけっと、地域おこし協力隊、NPO法人エオス、NPO法人希来里の計9団体による合同展示です。3日間で1400名以上の来場者があり、たくさんの方々に団体の活動や事業内容についてPRすることができました。

東尾岐地区で「自主防災組織」について学びました。

災害時にどのようにすれば住民の【安全・安心】を得ることができるのかを区長会が中心となり話し合い、11月15日に出前講座を受講しました。自主防災組織とは、「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚を持ち、防災活動を行う組織のことですが、住民が連携することで被害を最小限に抑えることが大切です。東尾岐地区は、地区間の距離が離れている上、高齢者が多いことから、まずは自分の身の安全を確保した上で、自力で移動困難な人をいかに共助するかが課題になります。今後も、地区の方々と話し合いながら、自主防災組織の設立に向けて輪を広げて行きたいとのことです。

